

# 刈谷市 歴史の小径

れきしのこみち

## 城下町周辺・元刈谷編



刈谷市歴史博物館  
KARIYA city Museum of History

城下町周辺①松秀寺

## 元刈谷 散策ルート



### ① 刈谷古城跡 【かりやこじょうあと】

文明8年(1476)頃、知多郡緒川城主の水野貞守が刈谷進出の際に築いたとされる。禅僧万里集九の紀行文「梅花無尽蔵」には「刈屋城」の記述がある。貞守のあと賢正、清忠と支配した後、天文2年(1533)に北方約1kmの地に新たな城を築いたため廃城となり、今はその痕跡をとどめていない。

### ② 本刈谷貝塚 【もとかりやかいづか】

本刈谷神社境内に広がる縄文時代晩期の貝塚で、ハイガイを主体とする貝層からは、土器や石器、骨角器や装飾品など、多様な遺物が出土した。縄文土器の一部は「元刈谷式土器」と呼ばれ、年代の指標となっている。当時の墓も多く、「盤状集骨墓」という三河湾沿岸に特有な墓も発見された。昭和42年(1967)に県の史跡に指定され、出土品の一部も昭和49年に県指定文化財となった。

### ③ 本刈谷神社 【もとかりやじんじや】

元刈谷地内にあった八雲社・北野社、熊村地内にあった八幡社の3社が大正2年(1913)に合祀されて、八雲社のあった場所に奉還して本刈谷神社とした。3社の祭神であった須佐之男命、菅原道真、菅原別命を祀っている。

### ④ 楞嚴寺 【りょうごんじ】

曹洞宗。応永20年(1413)遠州浜松普濟寺の利山義隆により開山した。第7世古堂周鑑のとき刈谷城主水野家の菩提寺となった。徳川家康の生母於大(伝通院)は、岡崎城主松平広忠に離縁され刈谷に戻った後、たびたび当寺に参詣したと伝わる。伝通院ゆかりの品を所蔵し、境内の「水野家廟所」は市指定史跡。



水野家廟所

## 刈谷市 全域マップ



QRコードをお読みいただくと、刈谷の地図と周辺の史跡が表示されます。

## 城下町周辺 じょうかまちしゅうへん

刈谷町が城下町として整備され始めたのは慶安期(1648~52)とされ、以後、刈谷城に付随して大いにぎわった。刈谷城の南には寺社が集い、城下の寺町の風情を見せている。

## 元刈谷 もとかりや

天文2年(1533)水野忠政による刈谷城築城以前は、現在の本刈谷神社付近に刈谷城が位置していたため「本刈谷」と呼ばれた。本多家の時代になると、本多家をはばかって本の字を「元刈谷」と改めたといわれる。西側の川沿いは、江戸時代に新田開発がすすめられた。

お問い合わせ

## 刈谷市歴史博物館

〒448-0838 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1  
TEL:0566-63-6100 FAX:0566-63-6108  
<http://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/>